

事業概要シート

施策 1801 道路網の整備

《 》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

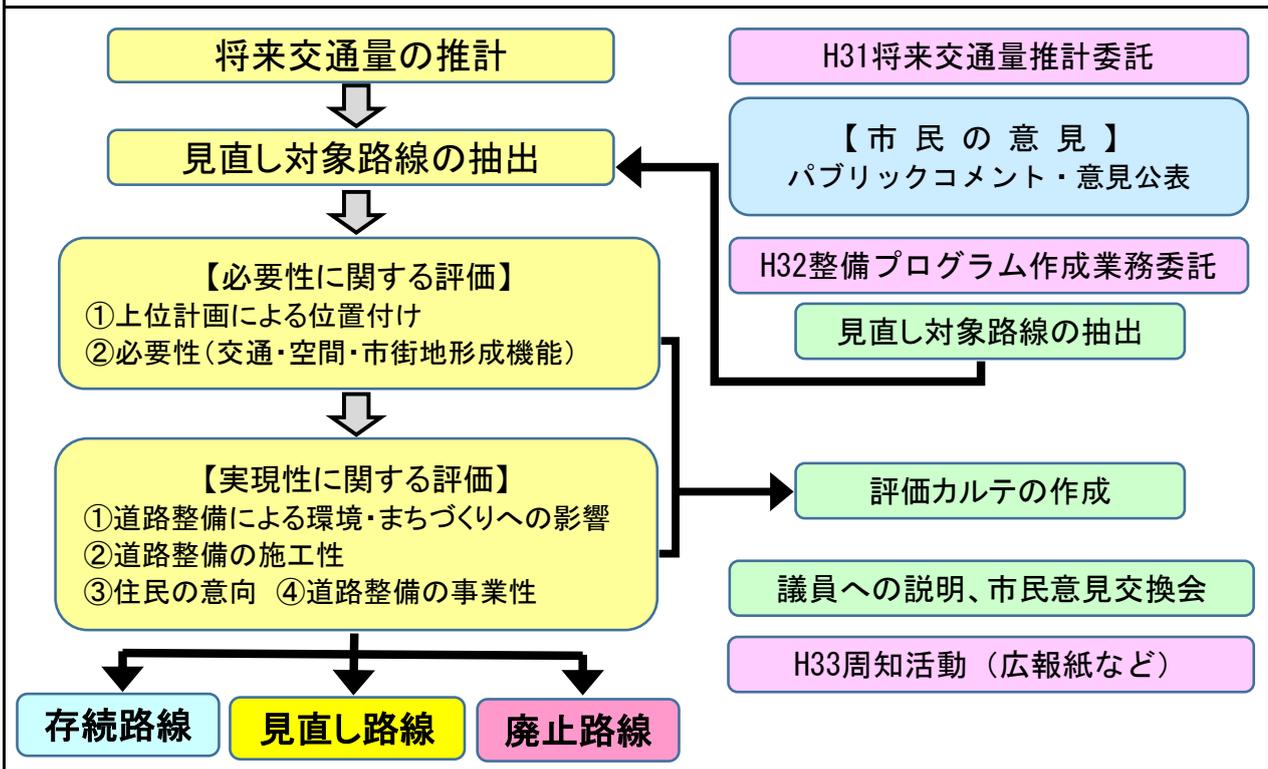
事業名	都市計画道路見直し事業	新規	予算額	3,730 千円
事業期間	平成31年度 ~ 平成33年度			《 》 千円
根拠法令 要綱等	都市計画法 都市計画運用指針	財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	3,730 千円

【事業の目的・概要・対象】

都市計画道路は、都市の骨格を形成し、地域の経済活動や市民生活に欠くことのできない重要な都市施設である。

平成22年度に都市計画道路の見直しを行い、優先順位に基づき道路整備を進めてきたが、長い期間が経過しているにもかかわらず着手の見通しがたっていない道路も存在する。

このため、見直し検討後10年が経過し、整備の見通しの立たない路線や、新規路線の検討など、これからの都市基盤の整備に必要な路線の検討を行う。



【背景】

都市計画道路は都市基盤施設として、都市計画法に基づき都市計画決定を行う道路であり、予定路線の土地には、都市計画法53条により、建築物に対し構造や階数の制限がかかるなど、個人の財産に影響するものであり、期間ごとに見直しを行い、適切に管理していく必要がある。

担当課	都市整備部都市計画課	課長	児玉 隆行
担当者	都市計画G 金原 剛蔵	問合せ先	0957-53-4111 (内線431)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	市民への周知	回	0	0	0	1	8
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	都市計画道路着手率	%	74	74	80	80	80
②		目標値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	0	0	0	3,730	5,680	1,310	10,720
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源				3,730	5,680	1,310	10,720
人件費		0	0	747	787	747	2,282
職員(人)				0.10人	0.10人	0.10人	0.30人
時間外勤務(h)				10h	30h	10h	50h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	4,477	6,467	2,057	13,002

妥当性 (市の関与)	都市計画道路の見直しは、都市基盤の整備であり、都市計画決定権者の市が行うものである。
有効性 (施策貢献度)	計画的な都市計画道路の見直しを行うことにより、都市基盤の根幹となる幹線道路の整備を効果的に行い、効果的な土地利用を推進することが出来る。
効率性 (コスト)	本事業で、交通量や人口動態などに基づき、どの幹線道路が求められているかを総合的に判断することにより、効率的で効果的な道路整備が図られる。

1次評価	担当者記載のとおり。
2次評価	1次評価記載のとおり。

評価調整 委員会評価	
---------------	--